

令和6年度第1回鈴鹿市応急診療所運営委員会 議事概要

1 日 時

令和6年10月17日（木） 19時30分～21時

2 場 所

鈴鹿市総合保健センター 会議室

3 出席者

応急診療所運営委員 7人

事務局 5人 合計12人

4 傍聴者

なし

5 内 容

(1) 挨拶

(2) 会長・副会長の選任

- ・鈴鹿市応急診療所条例施行規則第9条の規定に基づき、委員の互選により、会長には鈴鹿市医師会木村会長が、副会長には鈴鹿亀山薬剤師会若生会長が就任
- ・欠席の井阪委員の代理人として、留奥医師出席の申し出があり、木村会長の承認をいただいた。

(3) 利用状況について

- ・令和5年度の利用者は14,173人で、前年度の約1.15倍、1,812人増加した。
- ・令和6年度は9月末時点で昨年度同時期と比べて約1,400人少ない利用者数。
- ・令和6年度のGWは昨年度と同程度の利用者数であり、大きな混乱はなかった。
- ・令和5年度検査数は、新型コロナウイルス感染症が9,062件で、令和5年8月の陽性率が51.6%と最も高値、インフルエンザが9,276件で、令和5年12月の陽性率が57.2%と最も高値であった。令和6年度は7月から8月中旬に新型コロナウイルス感染症が陽性率47～48%と高値であり、インフルエンザについては、9月までに流行はなく、感染者は数名にとどまっている。

- ・令和５年度決算は、令和４年度に引き続き歳入が歳出を上回った。

(４) 薬剤について

- ・採用薬剤の使用量と、使用期限切れにより廃棄となった薬材量の報告
- ・医薬材料の選定療養費について、応急診療所としての対応方針の確認
- ・新規採用薬剤及び出荷調整中の薬剤の代替品についての検討

(５) インフルエンザ流行等に備えた体制について

- ・年末年始と冬期の診療体制の確認
- ・検査キットの在庫状況と検査体制の確認

(６) その他

- ・特になし